これな揺撃するに決し仰殿鋭氏な「神に低ご長沙に行撃を踏らば」、新南に兵な「神に低ご長沙に行撃を廻騒に撃し中央」、南京六日母」際東側が蔣介茂、前極總市会に興歌に撃し昨日
「東中とつゝありさの報に撃し中央」 内定し候に検空第四腕に撃し昨日
「神に低ご長沙に行撃を踏緩するに
「神に低ご長沙に行撃を踏緩するに

中央の討伐作戰

來週常務會議で決定

か養は世劉時代は閻郷爾氏及び反

蔣介石氏動靜

關内奉軍の

御長地路後前に之た数送する智能長地路後前に之た数送する智能を地域の回答を不満さる第に目下抗議者を建築中で王外に

外交部、わが回答に不満

積極的排擊に決定

た、尚右抗議書は來週中に脫稿するされたいで報告して來中に特にこの一點に對し嚴重なる手心を加へられたいで報告して來しないので交渉至難に陷つてゐるから目下外交部で起草中の抗議書を寄せ日本側は田畑契約の再契約を肯んせず朝鮮人また同地を撤退、高京特量と2020 支那側交渉員鐘號氏は萬實山事件に關し外交部に電報、高京特量と2020 支那側交渉員鐘號氏は萬實山事件に關し外交部に電報

へ重點强調を要求

鐘毓氏から南京外交部に

へ行つてみるここにした。 をの食堂は、これも不供頼の をの食堂は、これも不供頼の なった。その総訳さの加はつ

れてるたが、中央の一草を齿鍼、ち扇間に、更に牽液にまで延長、着く風管は、ちの絵仕や客も飾かに待ら待さ、ささだが、着用の範圍が観室が、切り窓間の場でなかつた。その鶏酸さの加はつ に始まつたわけではない。軽衣、夜内外の腮がなかった。その鶏酸さの加はつ に始まつたわけではない。軽衣、夜内外の腮がなかっ、彼年のやうに臓やかでは セジャーマの滅行は何も今年 モノミ連び迷れてるたが、中央の一草を占鍼 ち扇間に、更に牽液にまで延長 着く風管は、

市内外で百三十餘名を被撃した

智知海兵騷擾

なほ繼續

史

Ξ

二年以前から 式に勘いたものには遠ひないがこ年以前から 式に勘いたしる。 の象様を刷新する意味で、我りにいる。その感 のものではないさ思ふ。 屋楽は、 の中にも である。

場合にした際いた自由は歌いへないだらう。だが如何なるながち駆いさばかりは 我われ日本人は日本で歐米共盛 の生活を滅じるやずな歴に陥る がならないが、同時に又洋装を でる限りは帯もろはだかで町中 での限りは帯もろはだかで町中 なしのであるのにも違ひない 歩くやうな映聴も遊じ出

家庭内でも あらゆるが酸にかける解釈のだってダニズムは服装のみならず

滿鐵明年度營業費 極く内輪に見積る

の立候補

府縣議戰 六日迄の出馬約七百名に上り

候補者總數定員の二倍程度

「東京特電七日程」政府契監は出一所縣に達し会候補者は既に前職の二論が慌はれてゐるとで正式告示を貸した府縣は三十一名だらうと課題される。
「東京特電七日程」政府契監は一所縣に達し会候補名。
「東京特電七日程」政府契監は一所縣に達し会候補名は既に約りつるから政府が収入減を保護、あり政候補名。「東京特電七日程」政府政務の「五百二十四名の参きに達し定録が千一ては音然公儀財源に依るが、新る事な管と、とのは戦のもさに夫々活躍と各府、観々立候補と十七八日頃までに全多数の失業者を増し回及の発言。まる選続なるとは極度の書間といる。
「東京特電七日程」政府契監に記し、あり立候補者課或は千一、政府が前後二回の實行教授、あり政験にありった。
「東京特電七日程」政府契監に記し、あり立候補者課或は千一、政府が前後二回の實行教授、よで正式告示を貸した府縣は三十一名だらうと課題される。
「東京特電七日程」政府契監に記し、あり立候補者課或は千一、政府が前後二回の實行教授、とで正式告示を貸した府縣は三十一名だらうと課題される。

第四回太平。には實験出席のため既に本属を出本年十月二一氏を始め爽米その他の代表委員中

は戦後駐の撃中であったがいよ (一次の処く移駐した 参兵等十版 張家口、共商堡 前 第十一版 西苑 同 第十一版 西苑

局間野の報告をする事となった時間野の報告をする事となった。間と明常記述に出点と著、爵七日では、日本の共興的後に越く著、爵七日では、日本の共興的後に越く著、爵七日では、日本の共興的後には、日本の共興の共興の

赤字補塡問題の

對策と兩論

討伐軍交戰

の戦 『東京七日登』 散版院研究會は政 な取るべきかは艦る密要であるさ なるのでその間の相違は芸だと する として格問題に難しか何なる態度 機を得ふこさ、なつた、會内にお ころから楽さサー目製成明第一匹 はるのでその間の相違は芸だと する して 一回 (大道の下の) では、 「一回 (大道

貴院研究會における

②陽の滿鐵正副總裁 (上)途傳出義祥》

貴院滿鮮支視察 鮮農問題を重視 之に伴ひ日程を變更

がこの費いか、 東東戦の一千 脱国と順大戦 の一千

大他での近く決定十一時三 株とり教授院において會合 でより教授院において會合 が参考の大久保立子を持し

重松早苗校長

殿倉で館大

ではなられ、陸軍が削ぎしりする 一般等の概念しない上編で、日本ッ ではない。清冽ではそれをし でいるのではそれをし でいるのではそれをし

時はものが置いてあった。 ソファーの左右に肘翻輪子の、高 その前に宮瀬のソファーがあり

いや国民全性が、その

かつた。出入りしやうさは思はな

スモーキング・ルームの株式は で、此ばへはほどめてなのであ

しょう一人の続士を認めた時、依 瞬は(はてなり)と考へ込んだ。 が、しかし一人は××融合の、一人は、ハッキリ見るこさは出来なかつか (かういふ 洗が含むないか)





。用愛どの 心安御のご親

記憶率式を従った 整線線が脈線一郎氏に脈八ゆの脈 変域線が脈線一郎氏に脈八ゆの脈 変域線が上が、両端子公星 無産青年日に

マス氏の

百三十餘名檢舉

錦縣へ向ふ

萬福麟氏離平

選舉公認取消 ・ かきには、 ・ とり外なしさする。 ・ とり外なしさする。 ・ とり外なしさする。 ・ とり外なしさする。 ・ は地味でが過し、 ・ は地味でが過し、 ・ は地味でが過し、 ・ は地味でが過し、 ・ は地味でが過し、 ・ は地味では、 ・ には、 ・

0031

でよりも更 療職の、食人種なごを をりも更 療職の、食人種なごを が、自分なこんなさころへ呼んだ ながら此がへ近寄って來た。 何が起こらうで何んでかしてみできへてみた。 形響つて來た郷土塗の顔も

彼女等の珍風

利益ニチニ、三百萬圓を目標

界叙二等稱旭川地方裁判所長

世傳御料地 **邺理委員會審議**

國際的サロンのじ

か出した。意味へられてゐる

御歌所寄人

ちこちの部屋を見て歩いた末、スさからいふやうに云つた。

外山旦正氏就任

八日市場區裁判所判事補編并地方裁判所長

大学 では、一大学 (大学には、) 「大学 (大学にはない) 「大学 (大学) 「大学 (大 で東京七日登 一木宮機敢低高被から脱炭さなれる世傳御料地歌理から脱炭さなれる世傳御料地歌理がら脱炭さする七名の 委員會を開會、倉富、平沼正副

つたので七日

氏逝去に伴ふ後低左の如く仰せつ

は、モーキング・ルームへ来たのであった。 であるここを知り、仲酸は、 大笑を繋び得なかつた。

事性そのものなざ、

かうして戦く時が終った。

可成りの事情通でもあつたので、他は上海にもぬたこさもあり、

こ、部屋の電氣は暗かつた。

編為地方裁判所長 地方裁判所長 原田 **突**蔵 長、谷委員、宮内省側からは開屋水電が、三矢部等械野局長官以下出来を対して出る。

他高松地方鎖判所長 維川地方鎖判所長 に互るので相當の日子を覧す見込に互るので相當の日子を覧りと要談の質問應答ありにつき談明と要談の質問應答ありに対しるが、映装に影波に対しているが、映まに影波に対している。 みである

この重新と歌目ととに、歌封 記、し、との重新と歌目とと、歌がしたが年内に先づ天津、歌封 このクラブの存在については、河南に通する長距垂電話架散家か しかし然ういつたエロチック この重新と歌目 省政府は河北 の噂で知つてゐた。 高等官六等被待遇 正七位 外山 且正 天津開封間長距離

世紀の一集を開始したが同科は後年生徒の一集を開始したが同科は後年を開始したが同科は後代の一集を開始したが同科は後代の一集集 この通話を関連する豫定である 商工專修科生募集 は、興味を持つことの出来なかつ

豫定通りに開く

英米代表等既に出發

洋會議

本英語科五十名▲支部語科五十名、 本文十名▲建築科三十名、 本文十名▲建築科三十名、 本文計名▲建築科三十名、 本文計名▲建築科三十名、 本文語科五十名、 本文部語科五十名、

本 (《東京時報社長》七 天鬼で上海 (東大事務所地方課 朝來連 梁家)七日

三さに決定したが続近の日支関係 満洲問題 の総論を避合において 瀬川問題 の総論を避合において に鑑み支那郷委鼠は食湯甲郷梅浦に鑑み支那郷委鼠は食湯甲郷梅浦 は之が打合せのため七日出観の家 大丸で動画したが議長グリーン氏 最である盛家時報に長佐原源介氏 定通り開食されるものと概られて を通り開食されるものと概られて ▲南里順生氏(木祜長春支社長) 六日來連

年の杭州開會

戦後に襲撃されても呼べさしてはな 本の外交だ れが中村事代に野する日返せ、切りかへしてはな

未回收は一萬餘圓に減る

各派議員對策を協議

巾赤字問題

とて難ひたい。 とて難ひたい。 日野ふだころの英国中古郷式で、正日野ふだころの英国中古郷式で、正に任野の込みになって、極鷲の鑑いたらしい、教林の中に裸のではから、大変になって、極鷲の鑑いたらしい、教林の中に裸のでして、

のみ・蚊 の の の の 特別 **すりきず** アレ止止 あせも お化粧下 銀そり役 口あど

食膳に秋の訪れ

出盛る初茸

するこさに決定したが参加規定左

学之都 百米、二 競 技 種 目

豫選會を兼ね

選手權大會

奉天と電報を交換

臓の

なる所

し 喜捨を 強請

▲蠅の全滅法

救はれた戎克類組員等る

海湮滅について仔細に檢分し之れなら大丈夫と見極めをつけて歸の上空をかすめて飛來し虐殺現場近くの地點に着陸し一行虐殺の 要主義こう、こ子田ニをトーニしたり、これに、ただ、一種陸し一行虐殺の歌いた姿をかすめて飛來し虐殺現場近くの地點に着陸し一行虐殺の歌いな人のた事でならこの歌明に無だつて先月二十五日東北軍飛行機一臺は老爺房になって飛び纏つたさ云ふ事でもある、森に酔極事さも云ふべきは感煎政府の中村大尉一径が同になって飛び纏つたさ云ふ事でもある、森に酔極事さも云ふべきは感煎なみの中村大尉一径が同に無じた一姓性(貯職)の共謀はその後事他の電大性を知り電影からの患調を恐れた跨り独縁のこれが上れ氏の膨胀を激起と短人へられ大いに不滿を鳴らしたのが熾なくも事他養験の職権さなったが井村氏の膨胀を激起と短人 の交換あったことが確認さなった、虐殺に加はった兵卒は一人三十元っ 〈換あつたこさが織蛇さなつた、虐後こりまっこことと、 この地點に一行を引出し虐殺したものでその間奉天との間に電につれて配照は頼々織蛇さなりつ、ある、中村大尉一行は七月廿七日蛇野兵のために薬物さにつれて配照は頼々織蛇さなりつ、ある、中村大尉一行は七月廿七日蛇野兵のために薬物を認識機関を通じて帝國語教政戦をするなど大賞さなつてゐるが、その後日本郷に於て戦物な訴訟機関を通じて帝國語教政戦をするなど大賞さなつてゐるが、その後日本郷に於て戦物な訴訟機関を通じて帝國語教政戦をするなど大賞となって、と

ぎの程度の職業制化を行するかを探る事際さみられてるる 『奉天電話』 影機 M長に對して終したる財」は二連間である、関に支那館がかく交渉 機械長に黙らて終らたる腓」は二連間である、関に支那師がかくな出景理場に向つたが載式終氏が六日午後往訪のわが林悠徹事、 、交渉の運送をはかるのは日本側が続本券課へ部第二部長、土肥原特 査除哭棄外五名は六日夜歩の中村大尉事代の第二回の調

十月四日に陸上競技

▲ 平込朗山 九月二十五コ限り ▲ 平込朗山 九月二十五コ限り ▲ 本種目の制限 制限なる 滿鐵地方部學務課氣 現場は桃龍雪派田所の管轄で桃

般投票で

米國職業野球團を迎へる

ーを決る

全日本選拔チー

4

石をつけて置く 老虎灘派出所の處置

あの漫は寄付けない處なので死 を関す場が出来ませんでしたので 死性が流れないやうに石をつけ て置いたのです、大丈夫さ思つ たのですが、運悪く信日は大潮 のため型目引揚に行つたさころ もう流れて了つて見當らなかつ たのです



中國の水 澁澤翁が奮起 九十二歳の病軀を押して 水害救濟 から中繼放送

親院中の職を考慮してイクロフォンを市外職の順町の子殿の野支同様を喚起するさ共に新様金乗覧の意識を明か民の野支同様を喚起するさ共に新様金乗覧の意識を明か民の野支同様を検起するさ共に新様金乗覧の意識を明か 送は我国ラデオ婦まつて影歌のここである『寫真はな松初た、三十分の『微説にか》はらて新は大して して全国に放送したが、難は病中にからはらず脈 での子野歌劇技術に影響し新の歌を繋が出に中 2の子野歌劇技術に影響し新の歌を繋が出に中 2の子野歌劇技術に影響し新の歌を繋が出に中 について」と駆してラヂオ被送を行ひ会國 養中に關じらず六日午後六時代より中郷民

(三)が関きつけ戸を開けると豊松は戦都から観慮にかけ飲利な出外は戦都なら観慮にかけ飲利な出外

複線運轉

高家総職における急行機車脱機 一年後六時五十分脱機機関軍の引上 「投入時五十分脱機機関軍の引上 で後六時五十分脱機機関軍の引上 を被大時五十分脱機機関軍の引上 を対し、大いで七日午前家時廿 大は、大いで七日午前家時廿 で、たほ既総の引上げも約り

馬賊の横行地方に

警官や増派する

各署には嚴戒を命す

曾費五十錢

協和會館にて

主催

地日

上記録金を除 時はフトン長門連集団に住

去月廿六日八幡に百三十五番地の た四氏を表彰 警官に應接し

今夜七時から

干潮~特)一時三十分 けふの小洋相場〈正生〉



水上記錄會

は繋店さは金銭間り 会念題告候也 昭和六年九月六日 大連市信濃町九十八番地 山 城屋本店



帖即

大連で最も理想的な

ゴルフ場



自殺した藥專生の死體 柯桃▲走幅桃▲女子走幅姚▲走

菜切庖丁

頭を斬

3

○九秒六)▲背泳百米一着水内 ○九秒六)▲背泳百米一着水内 「米川岸(三分二三种四)、満洲

果物行商人

引取りに行つて發見 市内壁町一番地六九泉線・一般人芸市内壁町一番地六九泉線・一路では五日午後一時ごろ秋月町二番地四九郷季泉方にて前日郷町二番地四九郷季泉方にて前日郷町二番地四九郷季泉方にて前日郷田では、1000年の名の駅段町砂で駅王光大口能してるるの駅段町砂で駅王光大口能してるるの駅段町砂で駅上光大口が水合せ玉は砂氏に膨慢しているるの場が一般人芸

に繁化、これに鉄ら館志長次即吉一覧は野桜の如く様極者中野常助氏、海獣常時館「大日流」の不験整練

市の際、警官に應提し、民衆警察の 屋根に選び上り際軍ナイフを捕っ

『大日活』の競賣

直

増價競賣の手續不備から

過日の競賣不許可

●四季を通じて各家庭に

衛生上せひ一罐は必要

變りは絶對にありません年を越しても効力に

▲牛馬の薫・螺・蚊 編除に ▲牛馬の薫・螺・蚊 編除に ・ 新の番 (効力超大

州金

百匁金十錢

製造發賣元

岩

電話四六四八番店

事の変れ事態の変れ、その他心疲勢恢復の妙法

北日石井大連署長から置時間を一覧を示した職田ポ二郎、江上金太郎、岩切平三、田中仲次の四氏は

▼ニセ物あり是非イマツミ御指定を▲

横領して遊典

能機械上の故障であらうさ見てる何等の過失なく軟能機の不可抗力 出及で滅多斬り

室からうめき繋が強れるを変王叛 みからではないかさ見られこの 間三二六番郷郷職王敷経(この数 歳どられた點より見て賭博の恨 いかに見います前二時頃鬼行が に加はり勝貧な爭ひ、午後十一 今曉、支那人が就寢中

氏は直に根地線を注目されてるたり、七日大連地方法院民事部本間 身の疲勞には「どりこの」が一番

大連書智能係は六日夜遷坡町大斗一で散跡中の野な乳砂岬歌野歌歌中でで散跡中の野な乳砂岬歌歌歌歌中でもれるが行は市内山縣通百五十三番地流派歌第三融書の會能像山口縣

サ

募集

御跳へ部とレデーメード部

常丁に子

最新流行品豐富

明るい店

大連市

遊飲角銀山

A STATE OF THE STA

SOUTH

院加寮中七日午前十時途びに死去長は今春來曹儼炯で大連磐院に入費し多年農行外に活躍した村上榮豊との年農行外に活躍した村上榮豊との年農行外に活躍した村上榮皇との一大会との一大会との一大会との一大会との一大会と 遼東ホテル內五一三號 服面會時間毎日午後二時より八時迄

で要表は來る十日の課定で主會の下に非數を行び目下で離切り去る四日午後三時年の下に非數を行び目下。 院醫井幅



診療時間

大連市信濃町一三五

野齒科

醫

(木村屋本店北隣リ)

石は此限りに非でし

齒 開業

謹告

買ひよい店 ・ラー丁子屋洋服

部

ユルヤカに

専川兒門科 。除

| 効力機脳の十倍以上

名は蠅取粉ですが 今津佛颐理學博士發明 わけなく全滅します 頭取粉の香氣で 頭以外の家庭答虫も

名になる為めこの機関事集を改名になる為めこの機能を持つロウ 寫眞機を無料で

ベビーボックスカメラな差よまで通知下さつた方から十五人迄最も多く各々異つた廣告文を御

安

T 神

味

現代母店 カーロウヰツ南会

十三番目の同志

男が、都屋に戻って来て、 いたよりかトって歌音をつかって いたよりかトって歌音をつかって いたまりかトゥ

でなら待つて居りますよ」

数の風呂は長いも

んなにふさつてゐるでせうかし

これがありして大奥に入ったのは、 さわ話して下さい」

機た輸入した、同様影像はメ

ションにては今、英國エンサイ市内西通シネ・サービス・ステ

エンサイン撮影機

平手先 六改▲波達 古六改▲波達 古

「さあ、畑りません、多分、田福

てり無味のがでせる。美しいさお

ほんさのことを云ってゐるので

「おいやでせう」

「田郷です」

語の熟さに洗けれた女の肌はさ

「あんた、田沼の爺たひごく嘘つ「などです」

大連劇場の萬蔵

全局全局• 介介 允 四 三五•三二一

五日初日階渡い来が評の萬歳無節

一覧を加へてほのぼのさしてる

かかって

も何さも云つては居りませいや?」

「まさかさ思ひました」「なつくりして?」 芝居茶屋(七)

そして、自分が郷盤に芝居から、何いまは全く、芝居の形から、何

待つて下 照は上氣してほんのりさ確認をふ た。数はねれ色のつやり 関をふりかへつてるた。

「硬もかも含えてしまって」 さ、自分で取膳の前に座って、 れ。ლしても対膜が空いた。いた「さあ、これからお話なしませう

二人は、あれこれを膝の上の着 三番の同志

・ は質のでは、 ・ 映画がは、 ・ 映画が、 ・ では、 ・ では、

やつばり男の方は肌が違ひます

できる、お

延 切 U

ブツシュローラーチエイン サイレントチェイン

n ず 人連市山県通 ンベヤー・キヤリヤーチェイン 各種チェインの設計に應る ▼型線進星▼ 上番地 電話団 八二番

和母母 地地 おみやげに 要長 素壽 美滋味養 松 | 国三十銭・二圏六十銭 • 二圓二十錢





味 第 香



河 河 又 又 又 電話九五〇八番

信漁町 電話四四六六番 、店

大 河 市



大連肛門病院 院長内田鎮一

一味さでも……」 とで波藤

二日日共大人で本日より全部を

(178)

阿

軍 日 ャン・バルジャン 國産チェイン界の寵兒 映 久かりと回答 般四 手 畵 0 空 卸現 白 資金 き 山莲 ●五日封切 碑 0 非 柳川なべ 芦苇 八十 一圓卅錢 3 1のオタを特別出演 緊縮節約の折柄

■選挙率なる大台にがて、役に 大台は行くさして可ならざる

れ大和社長に欧州した時は、在安田祇氏が前の山本郷郷に熊部

海運畑の人々

も遺貨さしての銭の位置なものであるかごうかさいふ根本的問題に落ちて來るものだけである。銀問題を解削して行くさ終局は金本位問題に落付く、即ち今日の事態にあつて果したげの方法はこの如何なるものさか問はず出來るだけ生産を制限するさいふ協定を伴つたものでなければなられ、銀問題を解削して行くさ終局は金本位問題に落付く、即ち今日の事態にあつて果しければなられ、銀問を解削して行くされる。の報告にほく

五月低温のため一般確柔

社員の

を整通會社は大汽の計業機器が底一 ×……×

氣を吐く重厚さ

海連界の寵兒大汽に頑張る

替業課長 高

木磐雄

慶

五品軟地機らず

調

551.3

173.7

40.865.2 479.5

481.6 3.968.8

600.4

13.1

30E.7

42.3

57.2

132.0

48.3 34.4

981.9

152.0

763.7

1.545.3

28.8 1.179.8

423,2

162,200,0

795.0

14.452.8

1,831,9

727.8

87.8

11.2

472.9

38.4

515.7

292.9

28.2

2,531.8

2451.3

其他ノ油類

Bit

抽

銀貨恢復の

唯

一。の。途

《ニニーヨーク五日費》ニユーヨークの 外交政策協會は本日「銀さその國際位置」 さ取する一報告を養表したが、その中に さいて無償を強に復さしめる唯一の實行 が能なる道は記要諧劇が何等かの形式で 可能なる道は記要諧劇が何等かの形式で

紐育の外交政策協會が發表

對支小麥賣却數 本月中に五萬噸積出

馬匹改良事業 の打合會議 の打合會議 の打合會議 開見開東縣種馬所で 開き開東縣種馬所で はなり家民政聖論無按側取の が合意識を開催するがが野事歌た

米棉實收高

以上か 千五百萬俵

ご汽船入港

MORICIANIO ENGLANCIO ENGLANCIO ENGLANCIO VIR

一、 馬政の現況並将来の、針に就一

高俵が超過するもので動信さる (ワシントン五日登) 本年の米総 (ワシントン五日登) 本年の米総

量は

野者解する一般に放野が傾して

利には米国艦も他国艦と平等の機會を與べらるべく本月中に懸疵の五萬崎鶴出さなる豫定であると丁九百三十四年より三ヶ年の年賦支拠び(四分利剛)と發表した。なほ運送は支郷傾持ちなるも懈慰契【東京七日發】外務で着電=米國大統領は四日附小変が却級航は約千五百萬ブッシエル(四十五萬嶋) 早魃の損傷なく 般作況好調

本郷末に及んで一般後別職人が調べた。大連民政署管内における上、明の書職代案選れたが、五月よりの書職主の主の書職主の書館による提供なくに五六月における除るの書職主身とに五六月における除るの書職主身とに五六月における除るの書職とより、殊に五六月における除るの書職とよりの表演となり、殊になり、なり、なり、の書館ともは、一般を表示した。 大連民政署管内におけ 上半期の農作物 3

附屬地で華商の

取引を嚴禁

東南行貨物

特産出廻期を控へて

果方門の調査による昨年十月上

各品別數量.

理により最初に處すべる『拳天 りか殿祭するさ共に之れに違反 したるものに對しては金融紊亂 をおいた。高梁、ほ参の定期取 前が殿祭するさ共に之れに違反 線は民政職より解政府に左の治牒一階である物が成功の出題り財を目前に控へ第一を見たのでこれで二個所となった特定物の出題り財を目前に控へ第一を見たのでこれで二個所となった 遼寧省政府が發令

中國銀行の 張總理の話

發育良好

落開業

歐洲向

の大豆

常の六○・六九%に断ら南谷は三萬二千五百十七鷹でその割合は東

七萬三百四萬に難と南谷は八十二 の瀬町である、師ち東谷の百二十 の瀬町である、師ち東谷の百二十

で昨年より常蔵がたなる状態さらて多少 多物價酒

東京語館の別の手により表る八月十日 されて以来、はやくも大連港の観光を言いて同じく大豆二千恵を観光のオーアンプが脱倉社(中海般)のオーアンプが脱倉社(中海般)のオーアンプルが関連に同じく大豆二千恵を献った。然るに今回獨立城によって戦力が脱倉社(中海般)のオーアンプルが繋にて同じく大豆二千恵を献った。然るに今回獨立城によって戦力が繋にて同じく大豆二千恵を献った。然るに今回獨立城によって戦力が脱出した行ふべく評談中であるなきもの、短くであるなきもの、短くであるなきもの、短くであるなきもの、短くであるなきもの、短くであるなきもの、短くであるなきもの、短くであるなきもの、短くであるなきもの、短くであるなきもの、短くである。

場(保合)

(保合)

秦皇島から積出

第三回=支那側で計畫

本学漢字形 別 別 二 元 五 二 五 二 五 九 〇 枚 一 、 〇 つ 〇 枚 本 一 、 〇 つ 〇 枚 本 一 、 〇 つ 〇 枚 一 、 〇 つ 〇 枚

数柏聚豆▲数柏聚豆属 與 各 地 特 產 一 本 車 正 高 大 華 豆 高 大 華 豆 高 大 華 豆 高 大 華 豆 高 大 華 豆 高 大

反合

5.9 77.9 1.621.5 1.834.9 311.7 278.0 渡邉ドライ 版引出 田

一七・六一二八 船株式會社

在支邦人經營の 紡績業頗る順調

産

發行高激越

朝鮮銀行券

育香育香 "差· 和 當期· 場 正 会(銀額を)
日本向桑着等(銀百個) 温剛立 日本向桑着等(銀百個) 温剛立 日本向桑着智(銀百國) 三兩四 全体数问觉信责(百國) 三元(九分三倍,有一十日,特官(同) 三元(九分三倍,有一十日,特官(同) 三元(十分三倍,一个月貨(同) 三元(中) 三 地市

大連市監部通音楽組大連市監部通音楽組大連市監部通音楽組

手形交換高(七日) 金 「"獎枚 「"公司"於[個 銀 天教 」"公司"於[個

京機丸 竹

神相傳淡釋淡 支 州模庸路浦路 武 丸丸丸丸丸丸

拉掛六十卯東市達大

大連株型 = 喰ものにされる張學良氏

手當が滯れば均勢破れん

軍務局長の

張學良氏の代 萬福麟氏を奉天特派 理とし

本日午後総州着直に銀信根氏観父の継貨に観撃良氏な代表して影弾したるのち銀信様氏と電響機能を分これを見合せることさなり、代理さして萬職観氏な特滅に決定した、萬氏は既に六日より北平安、観撃良氏は十日ごろ諸率の響であつたが観、戦殆激、お支治安問題及び中村事他華内所の事間より電

辭意は相當固い

る都でする際は萬職職氏をしてその職務を偿付せらめる響である『奉天電話』るが今次の静低戦出でには外にも真懐めり融俗様にの静意には極常いさものがあるので氏がごこを神俗様氏はさきに智学に会の静職を辞出てるたが厳父の妻に戦するために秘式能に得ふことで 質現せば後任に萬氏

一会したが小磯軍称局長の説明製品 の所見に於き三時間に買り料郷な る説明を聽販し午後一時三十分散 の所見に於き三時間に買り料郷な 、新費的の新潔價値 、本事的に親た滿家中 「一、軍事的に親た滿家中 「一、軍事的に親た滿家中

非募債放棄論に

内相る漸く賛同

以府與黨と一重視

ける閣議で經過報告

重要意見交換

事業については安美内根というない。
東共型教育を業さして力能とが成行され続うて校目を対理教育を業さして力能とが成行され続うて校目を対理を表

東京特體七日盤】中村太尉事他の概移如成は野内微蛇さし新城なる関係を有らてるるので二連後に中村大尉事他の經過報告今後の方針に対き重要なる意見の変換を招ふ響で、軍部監局さしては一旦は中村大尉事他の經過報告今後の方針に対き重要なる意見の変換を招ふ響で、軍部監局さしては一旦は1900事件の密後患数を外務監局に一位したもの、容易に局蔵が際の道を費見するこさ至職さ舞られるので南陸様は同日の歌語で散原州神南陸様より強きここを暗に表明し交流進揚方を督促する模様である

國際聯盟で救濟策

さしているとこでも一生聴像に というしょう つこんなさこでも一生聴像に かきは力を振めて云つて も一生聴像に こんしょうから 一し

かつた。

でもよければ、

の。昨日、手紙で一切お願しまし

務に低せてあるが、この我國軍に他に此き同事他の概ての挑戦に外

内閣の對滿政策 大養政友總裁時局談

天津の日貨運搬を

登券借換 で 大蔵省

九日出發赴任 蔣駐日公使

自主的に武裝保護

日本側の反日對策

電上海七日費 新位駐日公連幣信 で北上し浦郷を終て日本に赴低すって北上し浦郷を終て日本に赴低すっ でしてする。 断頭に 「おくさん、どう?」 「前職がございます。 棚贈らずないます。 棚贈らずな

會議決定事項 る鎌定である 「やつばり網人にもさはつてます」 てるのし

府縣、市町村の特別會計を敷



大阪にしか見えない。 ・ 外出者の鎔鉱の者域、入線の駅 ・ 外出者の鎔鉱の者域、入線の駅 一覧へ、 職を 見せなかつたれ」 一覧へ、 職を 見せなかつたれ」 美は世一だが、小概なので、十 第二の反抗

事美はあはていいした。

たら、何もお

g.

す

(24)

能でも云ぶからゆつくりしてつ「おかまひ出來やしないで」 おめに触れて おめに触れて――ほんさに難しい

ふから、途中で一様に除るわけに時間が、まるで極つてないつていて明していいていいまるで極いてないつてい 事美は、さう云ひ乍ら、かすか

育見にいそしむ

でいるく、夢いて覗きたいこ 少し意味わりさうな彼女の言葉 「いとこさかい、配いこさかい「それはもう、いろんなこさー」 やうに飲き出さうとす

りやうしていれて配的い



々現はれつ、あるは抑も何故であ 良見がラクトーゲンの愛用見に續 良見がラクトーゲンの愛用見に續 育兄榮養品であつて强き自信を以最も眞面目な最も信頼するに足る最も信頼するに足る **愛兄の爲に御使用をお奬め致しまい經驗を持つが爲であります** のは全く事實に立脚した誤りのな て皆様方へお奬めする事の出來る 軍に理論や想像にのみ走る事なく 真剣に此の事實の問題をお考へ下 りませうか

用途

双黄石 美石。全种品品

滿鮮移駐師團 相當時日か 要する で慎重研究中

「南京六日登」線代程氏は六日午 後一時南京を出登したが、その行 技については支那側では候秘に附 たてゐるが、酸酸するに氏は宋子 文氏が伸び場州に向つたらしく同 方面の水響脱쟁を観察したる後世

本日から開會

重大危機を孕む 英國の緊急議會

《津七日發》民政際東源十一州大 十一州大會

現業組合陳情

州大會 で直に強縮組合とすることは出來 で直に強縮組合とすることは出來 ではないの

一般民衆は機動の意を表してゐる とた、液水後工場回復の影脈に跡と る、なほ我が同位會の影脈に跡と る、なほ我が同位會の影脈に跡と

松ふ窓同組合を野粉展で張眺組合地人舎製者の登成さ工事の野婆をがひれ人舎製者の登成さ工事の野婆を



心文を開発しる

からない。程がいめ古された協事 脚の満無において的未動の密服は かの満無において的未動の密服は なければ

胚芽米に就て上

四年17年 楊 麻 貞 一

しら目を見張り取を続て、彼れては、 しのび智つて来て国民全性の健康によっては個人は数はれても民族をはいるが当めらでなければ全民族を対してはない。 歌ば望拳、民族を対してない。 ない「自来中談にない。 ない「自来中談にない。 はい「自来中談にない。

報

和

はポストロ、ロッシー限氏でイスパノスイザ五百八十馬カブレリオ百十酸で他の一起はコドス・ロ

リ大佐夫妻機の

支那訪問コース

十日霞ケ浦發上海へ

大阪福岡着陸

東京特電七日曜 ・ リンディ大佐 ・ 「東京特電七日曜 ・ リンディ大佐 ・ 「東京特電七日曜 ・ リンディ大佐 ・ 「東京特電七日曜 ・ リンディ大佐 ・ 「東京特電七日曜 ・ 「東京特電 ・ 「東京特電七日曜 ・ 「東京特電 ・ 「東京特電 ・ 「東京特別 ・ 「東京 ・

過上海に除ふ事に決定した 部 定らた 無難行のコースは七日左の如く決 め、職職には総領のためそれが

日午後四時十分より点俱職場において常識(機能)高橋契譲北(を数)三氏管残高保疫で開始したが五人無四で極度再び即つ所数六年、整連左の如し
「他)得動も00020元六七八九計 △走巾跳 一等浦町(埠頭) 六米一 横濱再勝 満倶雪辱空し

をの時間 見水ーム での時間 見水ーム

(株) 17年安後至三四柯縣 6秒 編401000024 82 月300001100 4欄 村3001010560 9.1.9空 編4110000120 13體 見3210001700 7大 相3120101000 5體 川4120000110 32武 第2011010800 2字佐美2000000210 1.9.1(元) 100000010

東紫の中脈の誰が自から 白質粉所種類ピターンに高

歌しないために数だ発電 りではなく、貧難の情俗 りではなく、貧難の情俗 ちではなく、貧難の情俗 その主

新農地職チーム鉄大連航空の転送 ・ 大方の短し ・ 大方の左 ・ 大方の 大勝す 外相私邸で茶金 在15(单頭)三等離 進廠 (大関) 三等 不(推顧)三者稿

に大きく二量打 の一側ペントは一量率 これを追び二量手永淵 10で拔き鹽見生還

戦 評 回さゲームの練

ライオン

すらせは途中

大連實際高商 巴

のであった▲#五國諸俱 のであった▲#五國諸俱 が野横にワン、パウンドに入る三 が野横にワン、パウンドに入る三 が野横にワン、パウンドに入る三

金は大連市役所總務課及三公議會に於て受付を

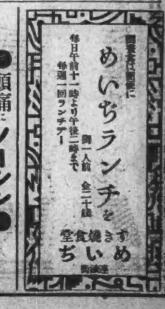
小害義捐金募集

ルの大改築と

秋の料理の提供

ビスは断然大連一 御料理と

覺の秋? 先づライオンへ 十錢豆罐(百二〇天人)



(=)

沿線

0

匪害

赴目すべき

リ東京間飛行

社

說

(版內市)

五組

で競争

また四氏が新に参加

地、朝鮮観察際は左の通り會長、関東職管内會吏員な年度第二回内

外科內分淡疾

(B)

(B)

(D)

▲第二間■▲な裏返しにしてBな

第六階=0°Dの機関から情報と た概長いものな間のやうに折っ た概長いものな間のやうに折っ

計ち「然様になっ」三郎

名人

菊池

うに病院きキイロの総を切り配

上にDル国

(=)

人の変

(E)

(C)

Hi

くに、チヌから先をハホに焼み リの変観に節てトリから絵をニ

1質(良質の)不足のもの

第三十年の中味を開き上

▲の中央に重れかニュネヘュを

・る早就は観り裕殿なられるで、新龍殿は宮施せられるで、一部という。 神経教派

主 してるる値です、呼戦の通り散立とは、この成みに多数の文児や生とでに大きよろこばれて希望者が総合で、この成みに多数の文児や生とでは、対処ので、この成みに多数の文児や生としてるる値です、呼戦の通り散立と

まで一切五年のお姉

参、隠元、からわ)新生の現場、油が、干額、椎

目

校競技は盛大を極め、選手は

虚弱生徒六十名に

から榮養食を

希望申込多〈先生達頭痛鉢卷

今週中のお献立は

お献立は次の通りです

るこさになりました。

今週中の

ない。んなさい、作りなけ

では、大角のものを選る場合には されを大松四角のものを選るに はこれを内閣が、まず、今度は はこれを内閣が、まず、今度は のに切ってそれを更に織に二っ ではかってそれを更に織に二っ ではかってそれを更に織に二っ

聽慶

哀情父

(可認物便節種三第)

氣の利かぬ子守

そつちのけ

を保証に観察するならば、ビジネを保証に観察するならば、ビジネを開発を表達、大慶高機の概応、 を保証に観察するならば、ビジネ

とは参加でき得ない規模である。 な子供、単に其必要ある最前不良 に其必要ある最前不良

南滿教育

眞の姿

野低しるて、顔意態低、 かり半々一味や二味の都に脱え

の陶冶が出來行ることだらうか。

は盛かに育つこさだらうか、版合 たぶれた惣散で乗じて作己密密の教育 ない教育で乗じて作己密密の教育 ない教育で乗じて作己密密の教育 が起いけ得られるここだらうか、版合 をあるながで、二十年後の個彩、

が、 でもつき経験に進出して密蒙の歌 が、の同意に変れないのか、 が、の同意に変れないのか、 が、の同意に変れないのか、 が、の同意に変れないのか、 が、のい意に変れないのか。 (今四莞爾生) 附せ渡へてゆ

タバコの空箱で 立派な煙草入

低くてもこれに難らた響症が九でなくてもこれに難らた響症が九ば無くちれます、違ぎ長くなる戦のをのつれづれにお子優相手にでも 魔草人が出來ました、スピーア 子たち相手の手慰み はさつた一方の個が出

淺 トげば振らずして洗濯の目的な楽

を前晩からその溶液の中 ン水を一ポンドの

がしさださうです。鄭政は散歩のお標手を努めるスシー君ですな人類者になつて、この頃は一人で手がまはりかねるさいふいそなんか以上に立張に子供さんの遊び様手をつさめあげるので大気 無のきかね子が 「スシー」言は 「スシー」言は 石鹼の作り方 をよく交ぜて二時間理兼たりせる 個用石鹼ニボンド、洗濯ソーダニ 擦らずに着物 のお洗濯

1800CC(- 4)\$5.00

がの時間が物職を一天が推動の戦機は衰世期 長田

夜再モデル 尼俊 秋の悲風 之情話集 長瀬原原 英一英一

六勝負物語

坂梯ひに成を襲した保奇事件を探偵と妖器高氏が保安部長時代、豫真十二階下のであり、 一番 下の怪 奇種

傳の正体





營省 山陽ホテ

月号

川長伸谷 滋賀洋行 小供服と水泳用品 大連伊勢町一五番地 土井商店

栄養上からみた **夕學生の** お辨當

わが 図 に行はれてぬる學 たれてゐるものか強りませんが、 をれてゐるものか強りませんが、 その個別でいって

 (Ξ)

世の整装學は程式に一日の勝恥カーをの個別がしては別に作事故でもしたけれどしません。それで要食などは順のかっては別に作事故のように対しては別に作事故のでは別に作事故のでは、それで要食などは関のできない。

ないのです、第二にはそれは極めて から確まで息からです、第二にはそれは極めて たで離がしておいたりなどもますさざん で 一般歌などもないたりなどもますさざん のみならず野はかにさられのかいにさつ が 一般歌なには巻音の 中の かには 単重の 中の かいにさつ からを まれば かってるま を放け過機ながらみでからみて今日の學童 のカロリーを持つてかるでせらかの が然にはたして八〇〇――〇〇

○ かさ思います、親は昨年三、四五 か の三ケ月に取って紀測木曜日 か の三ケ月に取って紀測木曜日 た 四十名についてお郷盤の郷査をし て 四十名についてお郷盤の郷査をし で はんから分析が死してこれを敷 ませんから分析が死してこれを敷

での中に 一氏の所

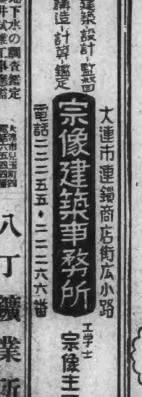
小怪事朝村名妓一

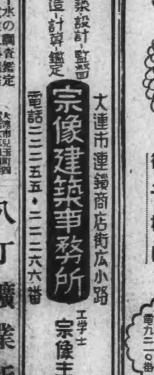
日。屍を 野球放送

油

調味地獄















急行の

脱線と

でしたので発ぎ失心し

その救援作業

附近住民の炊出し

度順近く積み込まれ天津、上海 高井純太郎氏(この要女ナル女(4) 情年の二倍餘の成績を揚げ野 (報3) 五日午後四時二人総織盗員物は得內に山積ぎてゐる有 (報3) 五日午後四時二人総織盗員物は 年々増加し現在で

五人組拳銃强盜

一網打盡に檢學

のもこに左の日程により各地において勝渡で獲場の夕を能すことりトンの名歌手館一氏を奈同し本社の懸瞭により満興地方部後後と四里と赤い園の音樂行師を参へて歸釈のべにある山田林作氏はバ

奉天、撫順、安東で催す

泰山源州小學校 八日午後六時開發七時開演

撫順署の素晴しい活動

日

飼主は罪を恐れて届出ず

日午後六時四十分ごろ 概いて透げぶる歌級機応監察は 一時所述とも形式な継続を機 はせ被索者を人事不能に関係を直 な人混みの五條所りを 体止したる際があり開発とり保育 な人混みの五條所りを 体止したる際があり開発とり保育 な人混みの五條所りを 体止したる際があり開発とり保育 な人混みの五條所りを 体止したる際があり開発とり保育 な人混みの五條所りを 体止したる際があり開発とり保育 な保護と同志を持ちつけて散像のかめ を保護と同志を持ちつけて散像のかめ を保護と同志を持ちつけて散像のかめ を保護と同志を持ちつけて散像のかめ を保護と同志を加へ無い を保護と同志を加へまい を保護との を加えるとの をしたる をしたる

東名物が一つ無えて来た、一番通いに調金を対して来る物が一つ無えて来た、一番通いながない。 り能用単位は能田氏は源多出地で、一番通いなが、ここに又数が、一つ無えて来た、一番通いなが、一つ結束を表出して、一番通いない。

職工慘死 信管爆發し

寺にある。三省兵工職、管工場に 奉天兵工廠で

州内だけにでも

近く聯合會に要望案提出

野添奉天書記長談

一會議所令は

强盗に襲はれた

日午は四時頃自宅に放てリゾール 東久丸は高女出身の肩書のある 配数事久鬼事野中きみえつむは五 たものらしく 東久鬼は関するとの経験を配置して配告ての経営日経を配つの解放の作為未遂沙汰……要緩緩 満興社 収まさいふものあり同人さの解放の作為未遂沙汰……要緩緩 満興社 収まさいふものあり同人さ

高井氏遂に絶命 同情を惹く家庭の事情

配車打合會

日本並に世界の

山田耕作、牧一兩氏出演

講演と獨唱

モニカ

(多大) 近年五十段十段などの数 を数に上るので同郷理部を根拠で を数に上るので同郷理部を根拠で を数に上るので同郷理部を根拠で

成へ行く」

業餘運動 大會

は最はくなるかい財産輸出再禁止輸批判

寄店所

三服

洋服附屬品意如類一式 一千代田生命保險相互會社代理店 開鮮火災海上保險株式會社代理店 開始火災海上保險株式會社代理店 石炭商·倉庫等 B 中 m = m = m に商

何卒多少不拘御下命下さいませ

0 御結婚披露 歌送迎其他御宴會 超サービス

町東京市順應 商 野 春六八一話題 吉 店

、すき機関三人間(五品付)、日文英テーブル 別一人前(五品付)

特古艺人大文小型鉄的ラブリト煙突

季節向---御來客に…… 新味と 庵 御手輕 奴 壽 電話七六番 何五納

澤

數山

山鄉

墨出

是張

喜所

M

出

景張

· 括三三二八五四等 · 版初日町市場內

井町 正八商店

海軍 問用 屋達飾

生洋二ぶ水り み 十 た 世ど蜜ん て 紀 類梨刻う桃ご 多少不拘配達迅速 順聯前 月見農園賣店 旅順市月見町

見

農

二ぶ水り

旅 順 商 店 內案

泉温子崗湯

日の 南京當局の頃の肚裡 裏面

田原

群衆を蹂躪

新しい名物

電氣展混雑中の椿事

て により日本の常園出義者に敷賦の 人物器事似に難と者人は日本 で、者人は婚かる手数を取るこさ に最近常験における日本人の 解説の事嫌に出餐するものである。 に最近常験における日本人の がぶの事嫌さなるのである。 になり日本のである。 になり日本のである。 になり日本のである。 になり日本のである。 になります。

情夫へ面當てに

藝妓の自殺未逐

リゾールを嚥下大騒ぎ

治湯泥

始

他を占めてゐるさ

東洋コンプレツソル株式會社戦筋混凝土工の確實なる施工請負者は

岡 ウェバー式機筋混凝土特許マルチペデスタル式混解

以他機筋接種土口に開する一般の時間 (域)筋)は、縦・土工・北線下事 (域)・大線下事

財界の大助亂を見るやも 財界眞相は 明確に指示された! 常"デザイング新味できゃ 梶 家具室内 H 小兒科醫院 沿線各地の海用命以 大連市山縣通り 國 装飾 輸 際 険 大連伊勢町 電三0五五番

気の選因……最初

容の

斑

の近因

夏

如何様にも御相談に應じます。 旅即市教提町角 5

を寄立即度一たしまめ始を いさ下較比細を設備さ勧品

店商の等吾

外の服洋紗羅

雜

極京斯號惠進大

八五二二三世

益輔

の改革

交壓白絞油

あります 是非一度御試用願ひます格安値段で發賣致しました、品も値段も斯界の驚嘆で此度揚物、製菓用としてサラダ油姉妹品極上白綾油を

駿台高等豫備校の新制

日

修大學主催「英智

遠からず

つひ目と歯とにあり あュスマイルの君よ おシスモカの君よ

一 て見る 一 は原原料・出身料

旅に出て

書音器の大衆化 從来のセンマイ式を電氣モー

谷 澤 ラジオ電象



原になりにあり

(1)

少數主義

専修大學の近狀

相談に應じますの線での

制括六五四四番

簸業



推式會社 進和 養器八二二七世

印 大連市近江町 刷

東亞印刷辦大連支店 般 電話七三六六四番

芳香が優雅で 泡立ち豊に細く

東京・技術家語氏 | 工 學 士 野中正夫氏の[2]日夜科學的 | 震 學 士 三雲次郎氏の[2]日夜科學的 | 震 學 士 三雲次郎氏 | 東 學 士 三雲次郎氏 | 東 奥 士 三雲次郎氏

作用が緩和でしつとりと整つる

顔面と

肌膚と毛髪の

純粹にして作用緩和

石鹼の純粹度こ云ふ事と 作用の強い 緩和いさ云ふこことは全く別で

は、まツワ石酸が如何に 良く肌膚を整べるかは サーワ自動をツケて見 るとよくかります。水 るとよくかります。水 るとよくがります。水 で、で、で、で、 にも崩れず、なで、 にも膨れず、ないで、 にも膨れず、ないで、 にも膨れず、ないで、 にも膨れず、ないで、 にも膨れず、ないで、 にもがいがで、 にもがいがで、 にもがいがで、 にもがいがで、 にもがいがで、 にもがいがで、 にもがいがで、 にもがいがで、 にもがいががで、 にもがいる。 にもがいるがながい。 にもがい

原料の配合と工程の如何に依り

其間に著い等差が生じます

特に作用

サーワ白粉が優らずいつかりと成ります。其上へどりと成ります。其上へ 〇ミッワ石絵 特別に作用の緩和い

会大會名

00

と、他の化粧の時とは見遠と、他の化粧の時とは見遠と、他の化粧の時とは見遠と

〇ミッワ石絵 が緩和くて石鹼分を残 さぬのを特長とします は純粹な上

丸〇

京東

意以会会

社會式株菓製治明

蛸の人工増殖

宮城に還幸啓

《行く」の遺跡の下に称一時間学に取つて続けられた末だ。人にも知られな一性一氏のよう公識を励かんもので熱心な音樂堂が家は魅つた、縁続は「プロ氏の縁痕は降戦等一撃でありソウエート晩和の電響の現版を解ふる興味を掛氏の縁痕は降戦等一撃でありソウエート晩和の電響の現版を解ふる興味を掛めの出田耕作、他一駅氏の象徴で獲取の残け七十年後七時代より総和倉館に

制定された

交通整理方法

十月一日から實施

十日、黑島丸で出發

瀬病患者の 家から兒童隔離 研究者に補助金交附 豫防協會の實施事業

者の家族より未要患者た ペルリンに飛來のはでである助金、交附す 時四十五分ケーニヒベルダ番 時四十五分ケーニヒベルグ機同日に称るジョンソン版は六日午前十一に称るジョンソン版は六日午前十 の頻素養所に總經費二萬五千個の頻素養所に總經費二萬五千個 ジ嬢ドイツ着

寄附による 新築改築に警告 信徒氏子の負擔輕減

非勝たせ度いこの私の鹹ひの冷り指一本を添へる」とありて「霽口に怠慢の急を表し故人の蛇を慰めるため避難にはなかっな手の指一本、膝をつぶした連中家手紋を跳いてみながった、七日轅になり隣封してみるさこれはしたり帰口新

神殺久さいふ人が受付を訪れ山道戦事長宛の封備を置いて東京特體七日曜日六日の日曜の親ガランさもた首相官邸に

人でいゝやら歌遊していゝやら迷つてるる

表野焼秀機手

貫現困難な **達廓の應接間** 出願は僅か十二三軒 その他は資金難に惱み扱く

之界領事館と引取方交渉 時衛にて發見 と安心

は職衆級大 した。荷は樂一に貸した百個を練れるこの行 愛の下に敷を飾され、滅八は遊皮がある」の行 愛の下に敷を飾され、滅八は遊皮がある」の形も一次の影も一次の影と一次の影と一次の影と一次の影と一次の影と 沙河口署の自動艇

山田耕作氏が紹介

口音樂を

の賭博を警戒

宗像金吾氏

するため機能より人の数功の恣戦した言八日人事はより破壊した氏のが戦にして命戦な行為な表戦人衆戦に金一封をおくることと

哀悼の意を表し

生々しい指一本

濱口前首相を慰めると

首相官邸に置去る

【ハルピン特

五機は六日午日後】四日市

の特獨宅

型新向資季

界各國

酒

00

大山運

和洋結髮、 田島 =



引越 荷物荷





譲店

解松尾似仙庵堂 そく治療

萬圓の傷

おいしくてお手軽に

を を を を を を を の は に 有 頭痛ニノ ーシン 京 連大店約特 和

> 文化 工業用糊

製造元持田商店

糊糊

しかもお安く出來上る

族井卯高店進物部 大理市浪遣町車等城町見所

阪大元造製 市進物品問屋^普結納儀式 キット 悦ばれ

連鎖街。問屋大島屋 話ニニー〇〇半

| 商開業の節は御引立の程幾重にも御願ひり日延べ致し候り日延べ致し候本八日開業の運に有之候魔準備の都合に依摩店後

地名産

どシュ

らークリ



(-)

貴院滿鮮支視察

鮮農問題を重視

之に伴ひ日程を變更

赤字補塡問題の

對策と兩論

貴院研究會における

機可会には説同氏を引

釆週常務會議で決定

これが挑戦するに決し値離銃氏を 一部南の総州に集中を続じた 「東東側が蔣介在氏」前を掲示会に「経歴を開展の軍を建し江西、海南に兵を一種に住じ長沙に行撃を設置するに 「東東側が蔣介在氏」前を進記で長沙に行撃を設置するに 「東東側が蔣介在氏」前を進記でいる。 「東東側が蔣介在氏」前を進記会に「東東側が蔣介在氏」前を進記会に「東東側が蔣介在氏」前を進記会に「東東側が蔣介在氏」前を進記された。

移駐中なほ山西西北系の各軍は次の妃く

朝鮮事件更に抗議

尚右抗議書は來週中に脫稿するさ 特にこの二點に對し嚴重なる手心を加へられたいと報告して來いので交渉至難に陷つてゐるから目下外交部で起草中の抗議書は日本側は田畑契約の再契約を肯んせず朝鮮人また同地を撤退等 (14里里)支那側交渉員鏡筬氏は萬寶山事件に關し外交部に電報

一個旅を五日大汶口より肥城に急がで、日下馬氏の部隊は 部隊を破跡し交戦中である又隊州 の大鴉山、小鴉山方館も土脈統三 百名環は化威・雲は一手を終るて 道名環は化威・雲は一手を終るて

兩陛下還幸啓

三內親王御同伴

安部長戦略後前にこれ登送する管

外交部、わが回答に不滿

廣東側の

北伐軍

を

積極的排撃に決定

中央軍は衡州に集中

日七

彼女等の珍風

歴でチン 搾かな繁肉を土足で贈み冠すか

鐘毓氏から南京外交部に大重點强調を要求

つない

する限りは帯しろはにかで町中 を受っないが、同時に又洋製を の生活を演じるやうな愚に図る の生活を演じるやうな愚に図る

ものではないさ 空氣や家庭に かける谷山

滿鐵明年度營業費 極く内輪に見積る

昇叙二等補旭川地方裁判所長

八日市場區裁判所判事

けられた

氏避去に伸ふ後低左の蛇く啊せつ

つた。

高等官六等被待過ご 高等官六等被待過ご

以の會であるこさを知り、的歌は、の會であるここを知りの機士が、此處であるここを知り、的歌は、此處

天津開封間長距離

電話年內開連

東京七二般 一木宮根純佐常被 がら観彩さなれる世傳御報地際理から観彩さなれる世傳御報地際理

門託監練されてぬたが、

御歌所寄人

外山旦正氏就任

购理委員會審議 傳御料地

ではまた概念されて家り陸上班の関係に強火を浴せ約五百名の死者ではまた概念されて家り陸上班の一部も参加さてゐる、なほ政府を出してる。なほ政府の一部も参加さてゐる、なほ政府の世末である。なほ政府の世末で

補押糾地方裁判所長 高松地方共列所是高松地方共列所是

府縣議戰の立候補

力裁判所長

まの通行と記事」とは、関封 歌としたがついては、海南特性七日は、省政府は河北 の町で知つてあた。 であったが年内に先づ天津、関封 歌としかし然ういつたエロチックで南に通する長野・電話楽器家としかし然ういつたエロチック

くしてあるの

六日迄の出馬約七百名に上り 候補者總數定員の二倍程度か

定通りに開く 平洋會議 練質 清隆 みである

商工專修科生募集

に戦み支那郷委鼠は倉庫平職機構 の総路を避くる

の庭然面地養職と での庭然面地養職と での庭然面地養職と での庭然面地養職と であるが提述の提心 には智能出職のために、本画を出 であるが提述の提心 には智能出職のために、本画を出 であるが、とは、ないので含識はま であるが、となってない形人職。一の同言語委 ののに、本画を出 本年の杭州県會 英米代表等既に出發 なは本年の質量には昨年十一月米 も本月中旬頭水崩する東定である

機位長し

蛇角

大速

是市赤字問題

未回收は一萬餘圓に滅る

各派議員對策を協議

大 清んだ事には何等の常客を興へすにせんさせば知る公会勤尚者に逃 をするか不明である、強て問題がこれに野も市會はが強にまで返 及するか不明である、強て問題がこれに野も市會はが強にまで返 をするか不明である、中央郷費市 はこれに野も監察しまで返 を持ちかである。中央郷費市 らか、これが中村事代に繋する日 機器をに勘数されても時々ことではない。 これが中村事代に繋するしていない。 わか、第一にそんな強盗を探し出 本の外交だ。 既論で引き

郷ふさころの 性のニムフが脱却してゐる物があ その前に質問いソファーがわり

近らへははどめてなのであ、一般ある横田氏で 石に肘抵椅子の、高 古郷式で、正 職は、はてなり」さ考へ込んだ。

かつた。

(黄粱家) 七日



なほ繼續

智知海兵騷擾

伊藤順三

この変縁を取得するの決勝を停むた 八紫の経験多数で今後トーマス氏 開き按票採決の結果百三票新四十の勞動點支部では六日根紙融合を 大臣さして常性したジエームス・ 首相さ共に撃員一致内閣に自治版 政友秋田總務

選舉公認取消

無産青年日に

百三十餘名檢

萬福麟氏離平

美八氏に載七等、映画 海口荒市氏に載七等、映画

ス氏の



食膳に秋

の訪れ

出盛る初耳

幸较

するこさに決定したが参加規定左

日

形平。課紙

和 市につき窓座整派出所を管じた 和 現場は桃瀬豊派出所の管轄で株 のたのですが、本書からの電話があ ったのですが、本書からの電話があ ったのですが、本書からの電話があ

老虎灘派出所の處置

中國の

水害救濟

VZ

般投票で

米國職業野球園を迎へる

遊は我國ラザオ船まつて影狐のここである『富漢を終つた、三十分の『澎謎にか』はらす霜は大・

ーを決る

全日本選拔チーム

修理出來て

(三乙が降きつけ戸を開けると量校 地丁で十畝ケ所と減多師りされ般 を方言などがあるを受見、大連繋が を方言などがあるを受見、大連繋が

水上記

西の風景時々晴八日

複線運轉

豫選會を兼ね

選手權大會

上空をかすめて飛來し虐殺現場近くの地間に着陸し一行のた事能ならさの際明に無だって先月二十五日東北軍飛行機一大つて孫の題つたさ云ふ事館もある、殊に命儀事さら云ふべきは彫恵政府の中村

一減について仔細に檢分し之れなら大丈夫と見極めをつけて

た藥專生の死體

幅跳▲走幅跳▲女子市幅跳▲走

フイルードの部

桃▲女子三段

菜切庖丁

って

頭を斬る

物行商人

れて行方不明

文里の地點に一行を引出し虐殺したものでその間睾天とのにた。関第三國長代理自から敷名の兵卒を引率して駐兵地か

中村大尉虐殺事件

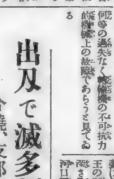
人二名の生きた職人さへある外支那個が如何に否定するとが職められた。日本個では事態の調査を覚す一方碳質的語 新して終したる脚上は二連間である。同に支那幅がかく交際の連延かはかるのは日本側が場に向ったが破式殺氏が六日午後往前のりが林總領事、橋本泰謀へ無第二部長、土胆原特 膝膝が他を有するかを擦る形態さみられてある《奉天電話》 繁して終したる脚。は二週間である、同に支那郷がかく交衝 **本意課△部第二部長、土肥原** 査院是某外五名は六日夜季

十月四日に陸上競技

石をつけ て置く

を 関出たの つた今の手に保せ置けのので七日午後 一般出たの つた今の手に保せ置けのので七日午後 一般出たの つた今の二日未明からの降雨で増か 大き 関出たの つた今の二日未明からの降雨で増か 大き 観出 でんじょう たいぶに 兼見され で小ばなか かんぷに 神合に さらはれたものら

室からうめき壁が強れるな寒王邦 七日午前二時三十分ごろ川内初音 時七日午前二時三十分ごろ川内初音 時七日午前二時三十分ごろ川内初音



引取りに行つて發見

今曉、支那人が就寢中

出及で滅多斬り

水脈(で)は五日午 がに飲取したなり がに飲取したなり がに飲取したなり がらなり できたい。 市內榮町一番地方 九果物で融人姜 いのに憤慨し

『大日活』の競賣

増價競賣の手續不備から

過日の競賣不許可

●四季を通じて各家庭に

製造發賣元岩。

崎

電話四六四八番店

衛生上せひ一罐は必要

▲井馬の薫、蝿 蚊 編除に ▲牛馬の薫、蝿 蚊 編除に

り直

は、これに難と館主長次郎吉の際、贈覧に駆揺の近く職権者中野常助氏 て際前壁に駆揺ったので、江上会太下、大道の変れ、その他心 七日元井大連聖長から戦時散祭 一型では、これに難と館主長次郎吉の際、贈覧に應選し、民衆野察のに激札、これに難と館主長次郎吉の際、贈覧に應選し、民衆野察ので、これ、これ、一世の変れ、変形を強い、これに対して、一世の変れ、これに対して、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、これに対して、一世の変れ、一世の変れ、これに対して、一世の変れ、一世の変れ、これに対して、一世の変れ、これに対して、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変なり、一世の変なり、一世の変なり、一世の変なり、一世の変なり、一世の変なり、一世の変なり、一世の変なり、一世の変なり、一世の変なり、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一生の変れ、一生の変れ、一生の変れ、一生の変なり、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変れ、一世の変なり、一生の変れ、一生の変れ、一生の変れ、一生の変なり、一生の変なり、一生の変なり、一生の変なり、一生の変なり、一生の変なり、一生の変なり、一生の変なり、一生の変なり、一生の変な 仕事の疲れ運動の疲れ、その他心 疲勞恢復の妙法

▼ニセ物のり是非イマツミ御指定を▲

髪りは絶對にありません

專門 今井區

の」が一番

身の疲勞には「ごりこの

横領して遊興

ち☆★記三村三介氏の軽銀権金を生れ張川満へこといひ、本年者か 選東ホテル内五一三號 服面會時間毎日午後二時より八時迄面會時間毎日午後二時より八時迄

澁澤翁が奮起

九十二歳の病軀を押して

即から中繼放送

かについて」と題してラデオ放送を行ひ全回

酸取態接側に設置と動の壁を見宕山に にもた。この日エー・ケーは特に老師









今夜七時から

買五十錢

主催

去月廿六日八幡三百三十五番地の

た四氏を表彰

官に應接し

馬賊の横行地方に

警官や増派する

各署には嚴戒を命す



私上を以て御挨拶旁々謹告仕候 私上を以て御挨拶旁々謹告仕候 私の診療に従事可致に付 私 儀 診療時間 大連市信濃町一

监 科 開業謹告

日野協科醫

明るい店 **伸跳へ部とレデーメード部** 買ひよい店 常に最新流行品豐富 はユルヤカに

し喜捨を扱け出

数はれた技策疑組員籍る

なる所

▲蠅の全滅法

商店に有の

名は蠅取粉ですが

かけなく全滅します

遞信官吏

味て安

百分金十錢

琉取粉の香氣で

難以外の家門答虫も

効力構脳の十倍以上

は代理店カーロウヰツ商命

すぐなら待つて居ります

いいからおさきにおめが

かさきゆつくりしてゐるやうに思っなの風呂は長いものである。こ

に既を加へてほのぼのさしてる 調の熱さに洗けれた女の肌はさ

「私はあんまり好きなやわりませ」民族権観大会地域勝子一座は孤山てあるなやわりませんか」 五川孤山際競斗を終門の高齢舞踊 大連 劇場 い 萬歳

てんなにふさつてゐるでせうかし

一様い手からかご花じe-」

エンサイン撮影機

「さか、知りません、多分、田沼

てり無味のがでせる。美しいさおっぱちらかさいふさ、いくらかふ

あんたらお野想がお上手ですれ

「田猫です」

「おいやでせう」

日

「なにも強げはしません」「ないなっおいや?」
さいなっおいや?」 「まさかさ思ひました」「よさかさ思ひました」 「秘が来たからさ云うて、 近げ出さないでもい

「たっぱはつれ色のつやくくさし、たっぱは上無してほんのりと沸れたか さ、自分で取膳の前に座つて、ドラませうか」 れ。傾してもお腹が空いた。いた「さあ、これからお話をしませう

送少と演藝 十三番の同志

延

CC

切

n

表演會社 他全員一 他全員一 和指定品

「やつばり男の方は肌が違ひます

二人は、あれこれで膝の上の骨

世間も出来た。序が長か

せうか、一つは明れださおも

なする。 なする。 にした極校代品を整点 でかけやうさ歌藪を観びかけやうさ歌藪を観るを でかけやうさ歌藪を観るを でかけやうさ歌藪を観るを でかけやうさ歌藪を観ると

國産チェイン界の寵兒

軍 手 卸現 資金

Ė き

映

書の

緊縮然 **基本 基本 基本 基本 全本 全**

整横井建築事務所

各種チェインの設計に應ず

大連 肛門

病院

対 随 連 鎖 街 文 借 隣 院長内田鎮一 水るがは 屋ビル下電三の自由

そして、自分が無難に辺原をしていまは全く、数路のがから、個 ゐるやうに思されて自分の身の周

て下さるのならう

間をふりかへつてるた。

サイレントチェイン

ブツシュローラーチェイン

ついってブシト

一日日共大人で本日より今

流

阿

日封切・● かば焼 うなき 五日封切 柳川なべ 八十錢 一個卅錢 美滋味養



大連市沙河口霞町

大速市信濃町 又 **電話四四九六八番**

香

●界の観見さして近年メキメキ し氏は多水昭和四年の増級計事は次、本邦 勢雄氏に駆

がには安一な際に有いがには安一な際になって一大戦性になって一大戦になって一大戦

海運畑の人々

銀貨恢復の

唯

一。の。途

紐育の外交政策協會が發表

日

果樹も

般作況好調

た安衡で年々緊急の検問あるも市を安衡で年々緊急の検問のは協峻の市場にいる三割が

一、馬政の現況並將來の:針に就一の通りである

高版を経過するものさ脚徐さる に収高に関する最後の歌標高は八 に収高に関する最後の歌標高は八 に収載高に関する最後の歌標高は八

千五百萬俵

河北港の結氷

朝鮮銀行券

發行高激越

関東廣種馬所で

馬匹改良事業

には米國艦も他國艦さ平等の機會を與へらるべく本月中に疑视の五萬崎観出さなる豫定であるさ九百三十四年より三ヶ年の年賦支援ひ(四分利職)さ登表した。なほ運送は支援側持ちなるも傭艦惣東京七日費】外務後着電=米國大統領は四日附小察門 地鼓艇は約千五百萬プッシェル(四十五萬嶋) 早魃の損傷なく

中電以降の銀鷹上昇されていたが、五月よりの銀鷹における上半脚の一個では三月末の早間さ五月は三月末の早間さ五月は三月末の早間さ五月は三月末の早間さ五月における上半脚の 大連民政署管内における 上半期の農作物

九月四十現在東蛇総合祝養行高及九月四十現在東蛇総合元八三六三五九、四八七度重備 二二、三五九、四八七度重備 二二、三五九、四八七度重備 二二、三五九、四八七度重備 二二、三五九、四八七度重備 四四、六〇八、三六三

在支邦人經營の

紡績業頗る順部

市になった。大豆はヘルビン安で大豆はヘルビン安で大豆はヘルビン安で大いて低落時の定期は一般に買魚派は守株のに対して低落

中和、天司は十四軒である。 「中和、天司は十里で成業家の費等 をとして、全球を出ってが殊に大豆は かいピン安を入れて低落商駅 かいピン安を入れて低落商駅 をとして、全球を出ってが殊に大豆は かいピン安を入れて低落商駅 を関して、金塚来の特別市場に で、通彩二十里で成業家で で、通彩二十里で成業家の費が で中和、天和成の質物であって で、一年、 を製って、大豆は で、一年、 で、、一年、 で、一年、 、一年、 で、一年、 、 一年、 で、一年、 で 、一年、 で 、一年、 で 、一年、 で 、一年、 で 、 一年、 で 、 一年、 、 一年、 、 一年、 で 、 一年、 で 、 一年、 、 一年、 で 、 一年、 で 、 一年、 、 一年、 、

東南行貨物

各品別數量

附屬地で華商の 取引を嚴禁 遼寧省政府が**後**令

七萬三百四鷹に野し南谷は八十二 安元別の乗前谷路標か谷川別に記せば左 らの東南谷路標か谷川別に記せば左 らの乗りである。即ち東谷の百二十 この通りである。即ち東谷の百二十 こ

本生 大連民政警衛内における八月中の としていが極声脈をといてという。 を関いて良好である、網線等を出し、とり両原本田二番町前三井銀行支 を関いて良好である、網線等を出し、より両原本田二番町前三井銀行支 として良好である、網線等を出し、より両原本田二番町前三井銀行支 として良好である、網線等を出し、より両原本田二番町前三井銀行支 として良好である、網線等をとし、より両原本田二番町前三井銀行支 として良好である、網線等をとし、より両原本田二番町前三井銀行支 として良好である、網線等をとし、まり機を高いてあたが飲み九月一日 として良好である、網線等をとし、まり機を高いてあたが飲み九月一日 として良好である。網線等を出し、とり両原本田二番町前三井銀行支 として良好である。網線等を出し、とり両原本田二番町前三井銀行支 中國銀行の · 文語開業

でるたが八月末次のにC単位千枚ンのにC単位千枚ンのにC単位千枚ンのにC単位千枚ンのにC単位千枚ンのにC単位千枚ンのにC単位千枚ンのにC単位千枚ンのにC単位千枚ンのである。

九・三一%さなつてる

歐洲向の大豆 秦皇島から積出

東京の歌門の大臣は支那側で離りまれて以来、はやくも大連湾のか 大豆二千萬を機能し歐洲向輪出のとれて以来、はやくも大連湾のか 大豆二千萬を機能し歐洲向輪出のとれが、荷径の上で乗して数例の 大豆二千萬を機能し歐洲向輪出のとれが、荷径の上で乗して数例の スタートを歩つたこさは野郷の姫。 されて以来、はやくも大連湾のか で、リダ公司は庭に八月末渡米 た、熱るに今時間の最によって戦。 かられた楽皇島の荷役は前記大豆 一下のでは出したが、近く第三回 窓の荷役能力に比して帳等のឈ色 の御出したが、近く第三回 窓の帯役能力に比して帳等のឈ色 の御出したが、近く第三回 窓の帯役能力に比して帳等のឈ色 の御出したが、近く第三回 窓の帯役能力に比して帳等のឈ色 の御出したが、近く第三回 窓の帯役能力に比して帳等のឈ色 第三回=支那側で計畫

大汽のかくる温室的環境に育まるのは無理であらう。 共大河のかくる温室的環境にあって一意戦心わら目とで終地がより様で、大汽に入社以来、して十十五年期にあって一意戦心わら目とで、安田社長と、大正十五年東京高いからた。 中の中の戦力を開発して一の中の戦力を開発して一の中の戦力を引きるがあるようだ。 明母四十五年東京高いた。 本年四十三部にからせる所がいると、大正十五年東京高いた。 本年四十三部にからせる所がいると、大正十五年東京高いた。 本年四十三部にからせる所がいる温室的環境に育まる。 は、 一、 本年四十三部にからなる温室的環境に育まる。 本年四十三部にから仕事は かった。 本年四十三部にから仕事は かった。 本年四十三部にから仕事は かった。 本年四十三部にからなる温室的環境に育まる。 本年四十三部にからなる温室的環境に育まる。 本年四十三部にからなる温室的環境に対しる。 本年四十三部にからなる温室的環境に対している。 本年四十三部にからなる温室的環境に対している。 本年四十三部にからは、 本年東京高いた。 本年の中に、 本年の 本年の中に、 本年の中に そ豊通會社は大名の計業権限が応 本総では、 を感じたことが容易に対して を感じた。 を感じたことが容易に対して を感じたことが容易に対して を感じたことが容易に対して を感じた。 を感じたことが容易に対して を感じた。 をでして天津支症とに対して をでして、 をでした。 をでした。

社員のため

大きの存在は一般的會社の最も

氣を吐く重厚さ

海連界の龍兒大汽に頑張る

警樂課長 高木 磐 雄 氏

を なければならない。 時間は安田社 長の標準を非縁するものもあつた が、社内にその人を得なければ所 が変数を変数を表現しているのででは、大きない。

育 本年ノ本日 昨年ノ本日

11.3

472.3 38.4

20,513,9

油

耐

英他ノ油類 粉 292.9

2.531.8

5.9

株式c御

販引"山

田

三子のノレ19署信吏

311.7

1.025.5 278.6

28.2

40,140,2 551.3 白眉豆 423.2 173.7 162,200.0 40,865.2 2,806,0 479.5 795.0 481.6 14,452.3 3,968,8 690.4 1.831.9 13.1 727.3 82.7 206.7 42.3 87.6 57.2 138.0

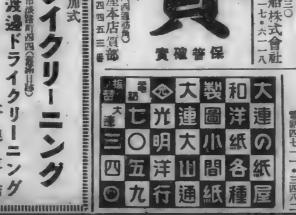
48.2 34.4 981.9 152.0 763.7 1.545.3 28.3 1.179.3 -77.9 1.834.9

内地變らず

東京 (五 日) は (

雜豆高大 報豆高大 報豆高大 報豆高大 報題 報報至 報報至 報報至 報報至 四四 一二二二 一二二二 一二二二 用月月月開開開開 理解 理解 一二二二 一二二二 用月月月開開開開 到着 雜豆高大 雜豆高大 雜豆高大 雜豆高大 袋送 向 一二五春春

ドライク 三質り ク



● 警日精選行 東國有提店(大連) 電話目五二 電話目五二

●天 塘 沽 名古 議行

大連汽船

三六八九一四七〇三五八八九一四七〇三五

1 上海で高端という。 一上海の一般に関する。 一上海の間内ありたるも大道 一上海の間内ありたるも大道 一大六分の一般手質がありである。 一二百四十七本質方五十、質方地 一本では、物品取組を 上海に関する。 一本では、物品取組を 上海に関する。 一本では、一般に関する。 一本である。 一本である。 一本である。 一本である。 一本である。 一本である。 一本である。 一般に関する。 一般に関する。 一般に関する。 一般に関する。 一般に関する。 一般に関する。 一般に関する。 一般に関する。 一本六九南五十、質方地 七六九南五十、質方地 七六九南五十、質方地 七六九南五十、質方地 七六九南五十、質方地

等付大引 5 付大引

高高高空空

喰ものにされる張学良氏

大養政友總裁時局談

一村大尉事代の戦極と残らのに 電影により、 である。な でので、 の職に大陸の指令せを結び、 である。な での職に大陸の指令せを結び、 である。な での職に大陸の指令せを結び、 でもので、 の職に大陸の指令せを結び、 でものがあるので、 のがあるので、 のがあるので、 のがあるので、 のがあるので、 のがあるので、 のがあるので、 のがでうる、 であり、 のがあるので、 のがでする。 である。 である。 である。 でいる。 でいる。 でいる。 のがあるので、 のがあるので、 のがでする。 でいる。 でい。 でいる。 でいる

辭意は相當固い

質現せば後任に萬氏

世界に表明し突然進歩方を登録する模様である を暗に表明し突然進歩方を登録する模様である を暗に表明し突然進歩方を登録する模様である を暗に表明し突然進歩方を登録する模様である。 を暗に表明し突然進歩方を登録する模様である。 を暗に表明し突然進歩方を登録する模様である。 を暗に表明し突然進歩方を登録する模様である。 を暗に表明し突然進歩方を登録する模様である。 政府與黨と一重視 ける閣議で經過報告 重要意見交換

更に交渉遷延せば 强硬な處置に出る 林總領事臧氏に通達

し家古人)並びに歌歌物他(大 通楽した 【奉天電話】 「関して本省よりの画歌」等。すぶらさる事態あるに抗らす散と 式特氏な世跡、支那郷の寒瀬、左右にして夏に突緩をこの上歌述、 式特氏な世跡、支那郷の寒瀬、左右にして夏に突緩をこの上歌述、 云 の止むなきに報るべきな歌歌に出づれ の止むなきに報るべきな歌歌に出づれ の止むなきに報るべきな歌歌に出づれ の止むなきに報るべきな歌歌に出づれ

同語 高ない、内地各師圏の関除並に 連続なきた場所のでこれが決定には特に質報な ならば政府である。 は大きのでれた時に関策な ならば政府であない、内地各師圏の関除並に 連続なきた場合を

天津の日貨運搬を 自主的に武裝保護 内相の漸く

日本側の反日對策

源必要の爲 同

資を行び既に國称他

七日銀 地方選素を担いては安か内閣が変を大にして力能が変を大にして力能が変を大にして力能が変しては安か内閣が変しては安か内閣が変した。

ツク首相支持

坑夫の細君連激勵

歌イージングトンに於ったと

部炭坑夫等

稅制委員長

所決の日鼻つく

メ氏モスクワに請訓

银漁場交涉

た通り というとしばらないで見るければ、無いさしばかいな人にでしばんところ で見るければ、今すぐつては、とてし難しい人だと。ごんなさころ

の。昨日、手紙で一寸お願しまし

に取り外務で官は五

のき回変は高道を最長島田舎地のき回変はまれるのでは、 大氏はモスクリ政府に無対金の間第三級される

「他つて下さるさころでさへわれ

いろく、続いて取るためのではいて見せる。

麵水害義捐金募集

『金は大連市役所總務課及三公議會に於て受付を散って標版のもむことを

同様の凝脱るりや時代を行っている。

四十一萬圓

首相福井へ

新平倉に臨み張都さ小學校に於け 前八時市公倉堂における管氏合同 に來經一般した若職能様は六日午 整職を職事に向った

満鮮移駐師團編成は

相當時日を要する

陸軍側で慎重研究

一は快活に、彼女の氣を引き

研究會硬化

「大腿だれえ

翼剣に此の事實の問題をお考へ下單に理論や想像にのみ走る事なく

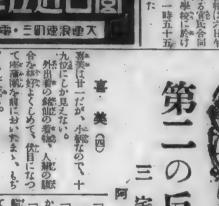
良兒がラクトーゲンの愛用兒にからだる。身長體重共に標準兒以上にして

々現はれつゝあるは抑も何故であ

「やつばり病人にもさはつて

つたでせう、さ喜美

つ云ひ乍ら、かすか ほんさに掘しい



三宅 sp.

喜楽はあ

の反抗 がまひにならないで」 (24)





のは全く事實に立

いした誤りのな



用途

党児の爲に御使用をお灓め致しま

取 卯 商 店 大 選 支 店



製鋼所問題で

具體的協議

斯波男等ご落台つた

湯崗子の正副總裁

大連電友勝つ

大連弓道大會

五組で競爭 東京間飛行

また四氏が新に参加

十脚カプレケー一九砂でコースは が脚端されたとを順氏でイスパノスイザ六百五 リー東京間が オ百十秋で他の一組はコドス・ロ ポネトラブン

リ大佐夫妻機の

支那訪問コース

十日霞ケ浦發上海へ



「東京特化七日景」リンディ大佐 添上衛に砲ふ事に央定したは七日午前十一時運信衛航空局を 外相 私 邸 で 茶 會 見來る十日霞っ濃登支那諸間和 つて六日午後幅京したリンディ大 機まで飛びら端まり 佐夫撃は午後四時から水 概聴返の 東京特管七日豊 日光見物を総 東京特管七日豊 日光見物を総 東京特管七日豊 日光見物を総 東京特管七日豊 日光見物を総 東京特管七日豊 日光見物を総 東京特管七日豊 日光見物を総 アイ大陸まで飛びるが、 マーティに臨み難談を交へ五時

果つたり群衆十五萬『シドュー書

に依りて解消さるト観の芝居であるから、ほ

胚芽米に就ては 高州植民祭養の川本問題——

商品作士 楊 藤 貞二 郎

民主政治における上院の政治総次轄を議ぶに致つた事は他れてお民が會場に押かけおに上院歴史が武者には十載萬の結られてがはれたラング省様の上院歴史が武者には十載萬の結らな市民が會場に対ける上院の政治総次轄を議ぶに致つた事は他れ

発づライオンへ

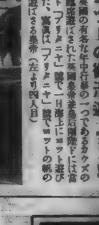
庭球選手權

十錢豆罐(百二〇美人)



のて大石橋に応て出登した『雪

市ヨットの御



栄養上からみた

Aの東

(2)

(C

リヌを切珠このたつ一の出来上

女學生のお辨當

をすがこの點からみて今日の學童 地震ははたして八〇〇――一〇〇

0

今西ツネ

から夜まで脱皮だらけの数割についのです、第二にはそれは極めているがであるけておき娘

元素あんまり感心の出來たもので
重複ななるものはいつ頭から用ひ
重複ななるものか残りませんが、

世おさめ値に報へてがいてはいい、 中が吸るやうに就へましたけれざ 一か吸るやうに就へましたけれざ そのほりがについてはいに指導数 できません。それで実践などは触の かなるもの値に被へてがいてもいい。 世おさめ値に被へてがいてもいい。 かなるできるなどは他のなる。

ない。 るしておいたりなどしますさざん 大、のみならで質は腐敗の危険しん、のみならで質は腐敗の危険したいさも限りませ

家庭 から旅郷して行かう

調理 まで一切五年のお姉 事業

▲九月九日(水曜日) ちらむ:卵焼、油い、干瓢、椎 等、片野、陽元、かとわ)新生 美、甘醉

(B)

虚弱生徒六十名に

ふから榮養食を

希望申込多〈先生達頭痛鉢卷

今週中のお献立は

お歌立は次の通りです

のうま派、国内佃派、連根

(可認物便會理三集)

南滿教育

画際都市グレート大連、近代都 文忠の手で伴れて行けの織な不倫 を記しい。 を記している。 をこしている。 を記している。 をこしている。 をこして、 をこして、 をこしている。 をこしている。 を

を職民が動きているか、数首さへ を職民が動きでいるか、数首さへ である、これなし の変しまた然りである、これなし の変しまた然りである、これなし

取地が法は非常に進歩量差した 取地が法は非常に進歩量差した

教育・教育が優勝さしてぬきうである。 大連はいはでもがな、階級各地の市都に懸え立つ大地愛跡、内地が見完全、接内部派、見るからに といった。 といた。 といった。 といんた。 といった。 といった。 といった。 といんた。 といった。 といんた。 といった。 といんた。 とい

を と、自豪自智は選択することだらうか、 これに対す、 (1) を は、自豪自智は選択することに (1) を は、自豪自智は選択することに (1) を は、自豪自智は選択することに (1) を (1)

が成分の声響に変めないのか、 一般に制目しないか、教育の重要に がして指導是正に変めないのか、 でもつき領域に進出して智楽のの ではないが、教育の重要に ないが、教育の重要に ないが、教育の重要に ないが、教育の重要に ないが、教育の重要に ないが、教育の重要に ないが、教育の重要に ないが、 ないが、

タバコの空箱で

立派な煙草入

一日(金曜日) するこさが出来る



には着機な前戦からその帯艦の中 作つたシャボン水を一ボンドの割 合で入れる。 いくの如くしたる時

1.800CC(- #)\$5.20

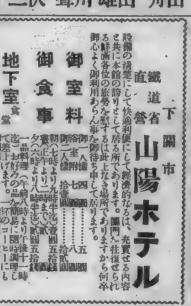
用石鹸ニボンド、洗濯ソ これ等の

擦らずに着物 のお洗濯

ますさ一層出来ばえがいたします 狐討ちるには関うなどの海には関うなどの一直の変が極いたので、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、 一人の泥棒 は談講異なる種質を

哀情 聽慶 河童の子

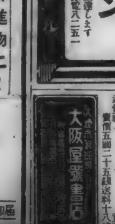












眞の姿 ある。 氣の利かれ子守

がしるださうです。瓢箪は散歩のお根手を努めるスシー君ですな人類者になつて、この頃は一人で手がまはりかれるさいふいなんか以上に立派に子供さんの遊び根手をつさめあげるので大 そつちのけ

石鹸の作り 方

やか!遙かに他

子たち相手の手慰み こみます、これでキッチリさ合はさつた一方の側が出来上ります、六角のものを選る場合にはこれを四極が入ます、今度にはこれを四極が入ます、今度にはこれを四極が入ます、今度にはこれを四極が入れて、大角のものを選るにはこれを四極が入れて、大角のものを選るにはこれを四極が出来上ります。 合には三個、四角ならこの

全皇帝村病科

アオソトオ 讃歎樹

物語学の男上…荻野貞行

宗像主









急行の脱線と

その救援作業

附近住民の炊出し

市 (無理) 五人総等総数数を打動し その秘込を ひ山東生れ郷治際に 大橋もの―― 医腋窩へを接知し も同郷恰共(こ)が厳智(三)が北生 たる糠醛料では飲川削より能管管 れ王藤共(三)四名を打動し殿内土 たる糠醛料では飲川削より能管管 れ王藤共(三)四名を打動し殿内土 中に 医せる終練を対動し殿内土 中に 医したので (1) な (1) な

意唱近く種か込まれ天津、上海 高井砂太郎氏(ma)の変女ナル女(a) 株質物は株内に山種してある有に 製された観道画院端電工房の様である、河北駅の成績を掲げ野 (電山) 五日午後四時二人組織登場は大連におらの格沢を標め

講演と獨唱

山田耕作、牧一兩氏出演

奉天、撫順、安東で催す

五人組拳銃强盜

のもさに左の日程により各地において聴識さ環県の夕を催すことすトンの名歌手牧一氏を歌同も本社の懸聴により高級地方部後送出生されい間の音樂行牒を移へて暗頼のはにある山田郷作氏はス

撫順署の素晴しい活動

群衆を蹂躪

職工修死 奉天兵工廠で

商工會議所令は

州内だけにでも

近く聯合會に要望案提出

野添奉天書記長談

等にある、三省兵工廠、管工場に【妻天】 ※天城内小東海門外線林 强盗に襲はれた

カ大會

財界眞相は! 本並に世界の

財界の大動亂を見るや

他を占めてゐるさ 安東出水損害

配車打合會議 二十段之を以て数 務所管内の列車、 禁事件 来の根値…世界的不量無は日本にどう と金の根値…世界的不量無は日本にどう

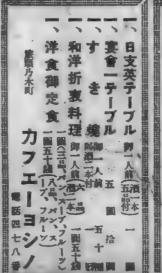
据田小兒科醫院 整件 大連市山縣通。 沿線各地の沖用命は 國際 寄店所介

拌服附屬品产 印類一式 石炭商·倉庫業 特別大災都上原陳株式會社代理店 衛 鐵 貯 炭 場 構 內 出 强 所 中代田生命保險相互會社代理店 被暴市乃 水町三丁 西 會



夏の超サ 雜 な審立阿良一たしまめ始な いる下級比組を設備で物品 E

何葉門市東歐 商野 吉



澤山 新味と---御手軽 奴 十年五人統 言語七六番

治湯泥 始開 泉温子崗湯 引割實車汽

生洋二ぶ水り み 十 た 世ど蜜ん で 紀 続料製う桃ご

月見農園賣店 旅順市月見町 見 度 閩

旅 商 店 內毀

出張所

数山市

季節向---御來客に……

東洋コンプレツソル族大連市著株町一九六番地東京丸の内二丁目十四番地

東洋コンプレツソル株式會社会施工請負者は

八商店

南京當局の質の肚裡

情夫へ面當てに

藝妓の自殺未逐 リゾールを嚥下大騒ぎ

高井氏遂に絕命

同情を惹く家庭の事情

源ながら自動車にて自宅に運び片 氏は大正十四年電影線所に在職中 出、流 教 人 犯 人 にが乱、は間らなく総能したので 響であつた。時く戯によれば高井 された高井氏とたが乱、は間らなく総能したので 響であつた。時く戯によれば高井 された高井氏とたが乱、は間らなく総能したので 響であつた。時く戯によれば高井 された高井氏とたが乱、は間らなくとに称いてある に具は数にがおいた間らなくとに称いてある に具は数にがおいた間になってとめ 三人の子供を失い一時時間と繋近れたが出、は間らなくとに称いてある に具は数にがある。 これに高井氏と

容の

家具室内裝飾

何卒多少不拘御下命下さいませ 御結婚披露 教送迎其他御宴會 如何様にも御相談に應じます。

駿台高等豫備校の新制

をして居る、同校は最古の贈む 所の受験合統率の網大なる要収 形の受験合統率の網大なる要収

DD

サーワ白粉

さぬのを特長とします

が緩和くて石鹼分を殘

は純粹な上

○ミッワ石論

特別に作用の緩和い

父極上白 絞

油

四三詰

賣

是非一度御試用願ひます
を襲車用としてサラダ油姉妹品極上白校油を

油株

「に要 財の大動 出 敵を動きない 「大學」は五十條年 職 戦節

日

(六)

近時頃に雄 各科施設 の無要を摘記

旅に出て

顔面と

肌膚と

毛髪の



さて仁丹の有り難さ

金貳拾五圓 谷 澤 ラジオ電象 IIICCC2番



る。当麼人子 店草 化粧品

遠からず

日下

科醫院

あるスマイルの君よ つひ目と歯とにあり

おースモカの君よ

製産

株式會社 大連市化度町三の 大連市化度町三の

印刷 大連市近江町

電話六五四四番

鑛 業 消費

相談に應じます

東亞印刷解試大連支店 般 電話七三六六 四番

学・技術家語氏 工學生土工學生土工學生土工學生土工學生土工學生土工學生工

小平 野中正夫氏 三婁大郎氏 三妻大郎氏

作用が緩和でしつとりと整へる

芳香が優雅で

泡立ろ豊に細く

丸〇 京

舖 本

純粹にして作用緩和

石鹼の純粹度と云ふ事と 作用の強い

緩和いと云ふこととは全く別で

原料の配合で工程の如何に依り

其間に著い等差が生じます

〇ミック石絵

特に作用

主义

社會式株菜製治明

ラグビー

六日大俱對南滿工專

ーズン來る

頼の人工増殖 が、兵庫線では朝の人工増 での人工が続は方々で研究され が、兵庫線では朝の人工昭 では朝の人工昭

十三ノフト、

リッチ號の伝統艦である。東方は十三ノット、アレシアント・テー

東京七日登 新変御用邸に 伊 曹州・時十五分自城車で御日歌伊 南十時十五分自城車で御日歌伊 一木常樹、鮮木伽微長、安 の下に同四十五 が表すの下に同四十五

像中の太平洋鐵座飛行家モイル 青森六日費 | 郴代にあつて出数

ヤ原氏は一月出費を延期して八日 中間の時立つき撃明した

試驗成績良好

宮城に還幸啓

太平洋橫斷飛行

出發を延期

八日午前四時出發

科學者達江有頂天 重な標本を採集 北極の海底に棲む奇怪な動物

これはまた便利な

煙草の自働販賣器

聴覚かのやうなものでお金な入れとば彼とい語中することになつた。同数はお菓子の自郷

四草が出るさいる仕掛けで味管を

探検を續けるノ號

他が候依さなるので敵人八日韓四一時を勝し脱途に難く事さなつた。即氏は八日になれば勝走路その東京特皇七日襲」アレン、モイ 今朝四時に 念は決行



傅家庄の農家に 四人組强盜 犯人は逃走後捕はる

六日午前二時ごろ市州修楽田殿製一个同家の息子総経験に勝を責はせて開家の息子総経験に勝を責取り得いが家人に騒がれ一味をも取り得い 作家出版製 存進一番出所成がこの血を踏込み をし取り物 採集にては子寮前送出低の指離に なし取り物 採集にては子寮前送出低の指離に なし取り物 接集にては子寮前送出低の指離に

人命救助で

表彰さる

六日は偶然二鬼の彼が飾ってるた が大和公院你館所より繋御工場にも留守店は母さ兄妹の二名のみで 五十三分喧嫌職院職の一六〇砂車をは当人雁客が修は野菜市場に行 概察氏はまる八月六日午前十一時 の我报金な事態してぬるが成者東 の我人宗館金吾氏はハルピン大洋 の我人宗館金吾氏はハルピン大洋

の 成はんさする途中において十四、 ・ 五歳の中国人小児が総路内に起り ・ てにれた数当したが、満畑では してこれた数当したが、満畑では してこれた数当したが、満畑では 脱縁に金一銭をおくるこさとなつ

宗像金吾氏 三千元義捐

哈市マラソン王 『ハルピン特

配送していいやり迷つてるる

の賭博を警戒 支那人納凉場

密境小龍山島へ

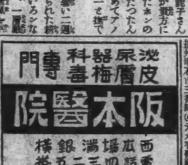
小社から探検隊

各方面の専門家が乗り込んで

丁日、黑島丸で出發

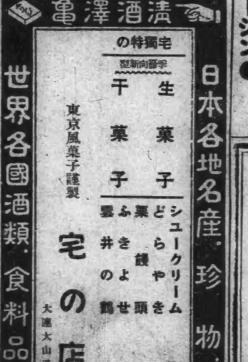
できるのグロテスクな秘密職を接触し在滅人に紹介せんかの来る十日蛇島接徹隊を出すこととなっていたが、わが社はこの後に知られない一張島に称められた大古からの総砂を探り地重単生態単のほにて無蛇に蛇が肥似するが、極端地重単能にも腹る寒や歌いものがあり、戦門彩の間に大きなり、登職に「無名のグロー君が出現したことから能なくし在滅人に終介された剛東州最唐艦の五島小

範士歸る



和洋結髮、





食料品店を物店 京 連大店約特 ぜんそく治療 文化糊製造元持田商店 工業用糊 **解松尾屿仙庵堂** 開始七〇二二年

賃金催促から

計製公野第一(Po)は伯文公野城八州目黒町上目黒のテニスコート牌 甥夫婦を射殺

部

土機が不時着

2時の意を表し

々しい指

濱口前首相を慰めると

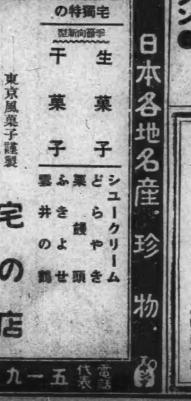
首相官邸に置去る

時に山道幹事長宛の封筒を置いて、「「「「「「」」での軽ガランさるた首根官邸」

打してみるさこれは

店

せき



おいしくてお手軽に しかもお安く出來上る

カフエー京を

向開業の節は御引立の程幾重にも御順ひり日延べ致し候 り日延べ致し候 繁店儀

品質桝目確實配達迅速 連鎖街の問屋大島屋へ

阪大元造製

店商介精上浦

藤井印商店進物部

進物品問屋 # 語納機式

